

# WAP125またはWAP581アクセスポイントでのHTTP/HTTPSサービスタスクの設定

## 目的

HyperText Transfer Protocol Secure(HTTPS)は、HTTPよりも安全な転送プロトコルです。アクセスポイントは、HTTP/HTTPSサーバの設定時に、HTTP接続とHTTPS接続の両方を介して管理できます。WebブラウザによってはHTTPを使用するものもあれば、HTTPSを使用するものもあります。HTTPSサービスを使用するには、アクセスポイントに有効なSecure Socket Layer(SSL)証明書が必要です。

**HTTP/HTTPSサービスタスクを設定する必要があるのはなぜですか。**

この機能は、不正ホストがWebベースのユーティリティにアクセスするのを防ぐのに役立ちます。管理アクセスコントロールリスト(ACL)を使用すると、最大10個のIPアドレスを指定できます。IPv4では5個、IPv6では5個のIPアドレスをWebベースユーティリティにアクセスできます。

このドキュメントの目的は、WAP125でHTTP/HTTPSサービスタスクを設定する方法を示すことで、ネットワークを強化する方法を示すことです。

## 該当するデバイス

- WAP125
- WAP581

## [Software Version]

- 1.0.0.4 — WAP581
- 1.0.0.5 — WAP125

## サポート情報の収集

ステップ1:WAPのWebベースのユーティリティにログインします。デフォルトのユーザ名とパスワードはcisco/ciscoです。



## Wireless Access Point

The image shows a login interface for a Cisco Wireless Access Point. It features a red rounded rectangle highlighting the top section where the username and password are entered. Inside this red box, there is a text input field containing the text "cisco", a password input field showing a series of dots, and a dropdown menu set to "English". Below this red box is a blue rectangular button labeled "Login".

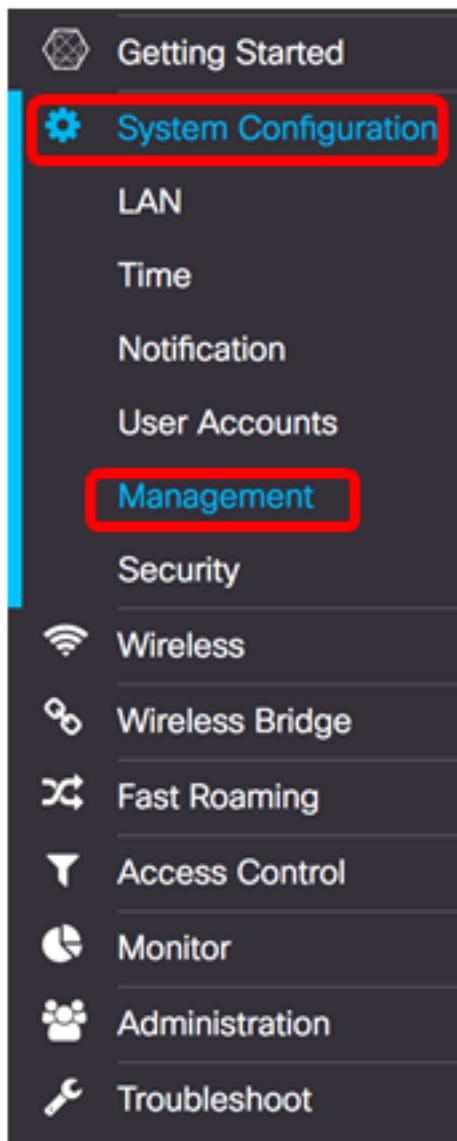
©2017 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved.

Cisco, the Cisco Logo, and Cisco Systems are registered trademarks or trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

注：パスワードをすでに変更しているか、または新しいアカウントを作成している場合は、代わりに新しいクレデンシャルを入力します。

ステップ2:[System Configuration] > [Management]を選択します。

注：使用できるオプションは、デバイスの正確なモデルによって異なります。この例では、WAP125が使用されています。



ステップ3:[Connect Session Settings]の[*Maximum Sessions*]フィールドに、1 ~ 10の値を入力して、同時Webセッションの最大数を設定します。ユーザがデバイスにログオンするたびに、セッションが作成されます。最大セッションに到達すると、HTTPまたはHTTPSサービスを使用してデバイスにログインしようとする次のユーザは拒否されます。デフォルトは5です。

## Connect Session Settings

Maximum Sessions: ? 5

Session Timeout: ? 10

Min.

### HTTP/HTTPS Service

HTTP Service:  Enable

More...

HTTPS Service:  Enable

More...

Management ACL Mode:  Enable

More...

ステップ4:[Session Timeout] フィールドに、Webセッションがアイドル状態を維持できる時間を設定する2 ~ 60分の値を入力します。デフォルト値は 10 分です。

注：この例では、13 が使用されます。

## Connect Session Settings

Maximum Sessions: ? 5

Session Timeout: ? 13

Min.

### HTTP/HTTPS Service

HTTP Service:  Enable

More...

HTTPS Service:  Enable

More...

Management ACL Mode:  Enable

More...

### HTTPサービス

ステップ5:[HTTPサービスを有効にする] チェックボックスをオンにして、WebセッションがHTTP経由で接続できるようにします。

## Connect Session Settings

Maximum Sessions: ? 5

Session Timeout: ? 13 Min.

### HTTP/HTTPS Service

HTTP Service: Enable

More...

HTTPS Service:  Enable

More...

Management ACL Mode:  Enable

More...

ステップ6: ( オプション ) [詳細]をクリックして、他のオプションを表示し、ポート番号を設定します。

## Connect Session Settings

Maximum Sessions: ? 5

Session Timeout: ? 13 Min.

### HTTP/HTTPS Service

HTTP Service:  Enable

More...

HTTPS Service:  Enable

More...

Management ACL Mode:  Enable

More...

ステップ7:[HTTPポート(HTTP Port)]フィールドに、HTTP接続に使用する論理ポート番号を入力します。ポート値の範囲は1025 ~ 65535です。HTTP接続の既定の既定の既定の既定の既定のポートは80です。

## HTTP Port

HTTP Port: [?](#)

80

Redirect HTTP to HTTPS:



OK

cancel

ステップ8: ( オプション ) [Redirect HTTP to HTTPS] チェックボックスをオンにして、Webセッションの確立時に、よりセキュアなプロトコルであるHTTPSにブラウザがリダイレクトできるようにします。

注: このオプションは、ステップ4で[HTTPサービス]チェックボックスがオフになっている場合にのみ使用できます。この例では、このオプションがオンになっています。

## HTTP Port

HTTP Port: [?](#)

80

Redirect HTTP to HTTPS:



OK

cancel

ステップ9:[OK]をクリックして、[Management]ページに戻り、設定を続行します。

## HTTP Port

HTTP Port:	<input type="text" value="80"/>
Redirect HTTP to HTTPS:	<input checked="" type="checkbox"/>

OK cancel

## HTTPSサービス

ステップ10:[Enable HTTPS Service] チェックボックスをオンにし、保護されたプロトコル HTTPSを介してWebセッションを確立できるようにします。このオプションは、デフォルトで有効です。

注：このオプションを無効にすると、HTTPSを使用している既存の接続がすべて切断されます。

### Connect Session Settings

Maximum Sessions:	<input type="text" value="5"/>
Session Timeout:	<input type="text" value="13"/> Min.

### HTTP/HTTPS Service

HTTP Service:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable	<span>More...</span>
HTTPS Service:	<input checked="" type="checkbox"/> Enable	<span>More...</span>
Management ACL Mode:	<input type="checkbox"/> Enable	<span>More...</span>

ステップ11:[More] をクリックして、HTTPSで使用するポートを定義し、HTTPSで使用する Transport Layer Security Versionsを選択します。

## Connect Session Settings

Maximum Sessions: [?](#) 5

Session Timeout: [?](#) 13

Min.

## HTTP/HTTPS Service

HTTP Service:  Enable

[More...](#)

HTTPS Service:  Enable

[More...](#)

Management ACL Mode:  Enable

[More...](#)

ステップ12:[HTTPS Port]領域で、HTTPSで使用される次のセキュリティプロトコルのチェックボックスをオンにします。

- TLSv1.0:Transport Layer Securityバージョン1(TLSv1)は、インターネット上の通信にセキュリティとデータの整合性を提供する暗号化プロトコルです。
- TLSv1.1:TLSv1の最初のバージョンの改良版で、データのセキュリティと通信の整合性が向上します。
- SSLv3:Secured Socket Layer version 3(SSLv3)は、HTTPSを介してインターネット上のセキュアなセッションと通信を確立するために使用されるプロトコルです。

注：この例では、すべてのチェックボックスがオンになっています。

## HTTPS Port

TLSv1.0

TLSv1.1

SSLv3

HTTPS Port: [?](#)

443

[OK](#)

[cancel](#)

ステップ13:[HTTPSポート]フィールドに、HTTPS接続に使用する論理ポート番号を入力します。デフォルトのwell-knownポートは443です。

## HTTPS Port

TLSv1.0     TLSv1.1     SSLv3

HTTPS Port :

OK

cancel

ステップ14:[OK]をクリックして続行します。

## HTTPS Port

TLSv1.0     TLSv1.1     SSLv3

HTTPS Port :

OK

cancel

## 管理ACLモード

ステップ15:[Enable ACL Mode] チェックボックスをオンにして、Webベースユーティリティへのアクセスを許可するIPアドレスのアクセスコントロールリスト(ACL)を指定します。この機能を無効にすると、Webベースユーティリティへのアクセスが許可されます。

## Connect Session Settings

Maximum Sessions: ?

5

Session Timeout: ?

13

Min.

## HTTP/HTTPS Service

HTTP Service:

Enable

More...

HTTPS Service:

Enable

More...

Management ACL Mode:

Enable

More...

ステップ16:[More] をクリックして、Webベースのユーティリティへのアクセスを許可するIPv4およびIPv6アドレスのリストを指定します。

## Connect Session Settings

Maximum Sessions: ?

5

Session Timeout: ?

13

Min.

## HTTP/HTTPS Service

HTTP Service:

Enable

More...

HTTPS Service:

Enable

More...

Management ACL Mode:  Enable

More...

ステップ17:[IPv4 Address]および[IPv6 Address]フィールドで、Webベースのユーティリティへのアクセスを許可されるそれぞれの形式の管理IPアドレスを入力します。

ヒント：管理IPアドレスにスタティックIPアドレスを割り当てます。

注：この例では、192.168.2.123がIPv4管理アドレスとして使用され、fdad:b197:cb72:0000:0000:0000:0000がIPv6管理アドレスとして使用されています。

## Management Access Control

---

IPv4 Address 1: [?](#) 192.168.2.123

IPv4 Address 2: [?](#)

IPv4 Address 3: [?](#)

IPv4 Address 4: [?](#)

IPv4 Address 5: [?](#)

IPv6 Address 1: [?](#) fdad:b197:cb72:0000:0000:0000:0000:0000

IPv6 Address 2: [?](#)

IPv6 Address 3: [?](#)

IPv6 Address 4: [?](#)

IPv6 Address 5: [?](#)

**OK**

cancel

---

手順 18 : [OK] をクリックします。

## Management Access Control

---

IPv4 Address 1: [?](#) 192.168.2.123

IPv4 Address 2: [?](#)

IPv4 Address 3: [?](#)

IPv4 Address 4: [?](#)

IPv4 Address 5: [?](#)

IPv6 Address 1: [?](#) fdad:b197:cb72:0000:0000:0000:0000:0000

IPv6 Address 2: [?](#)

IPv6 Address 3: [?](#)

IPv6 Address 4: [?](#)

IPv6 Address 5: [?](#)

---

**OK**

cancel

ステップ19:[Save]ボタンをクリックして、設定を保存します。

## Management

Save

### Connect Session Settings

Maximum Sessions: ? 5

Session Timeout: ? 60 Min

### HTTP/HTTPS Service

HTTP Service:  Enable

More...

HTTPS Service:  Enable

More...

Management ACL Mode:  Enable

More...

これで、WAP125またはWAP581アクセスポイントでHTTP/HTTPSサービスが正常に設定されました。